

第六回お茶の水小学校・幼稚園施設整備検討協議会 議事要旨

日 時：平成 29 年 9 月 14 日 18 時～19 時 30 分

会 場：お茶の水小学校 2 階ランチルーム

出席委員：名簿順（敬称略） ■出席 □欠席

■山崎充彦委員 ■須賀雄一郎委員 ■篠田加奈子委員 ■永田佳織委員

■志摩さおり委員 ■倉木嘉代子委員 ■高山肇委員 ■角谷幹夫委員 ■西角邦夫委員

■影山純子委員 ■角谷幸男委員 ■中村榮太郎委員 □渡邊圭一委員 ■石澤長一郎委員

■木村美佐子委員 ■小林泰治委員 ■田近恭一委員 ■土屋希美委員 ■五味美智子委員

□菅野豊委員 ■角谷幸子委員 □小林かおり委員 ■浅川宏委員 ■小川賢太郎委員

オブサーバー：

□清水智子 □松内幸子 ■小阿瀬弘道 ■平井秀明

事務局：

■小池正敏 ■佐藤久恵 ■根本有紀美 ■赤石晃朗

傍聴者： 3 名

議事：

1. 開会あいさつ（会長）

2. 配布資料確認（事務局）

- ・お茶の水小学校・幼稚園施設整備検討協議会 協議会ニュース第 4・5 合併号
- ・業者選定プロポーザルの実施状況について
- ・区立お茶の水小学校・幼稚園 施設整備計画方針

3. 業者選定プロポーザルの実施状況について（事務局）

- ・8 月 10 日から 8 月 30 日の日程で参加者の公募をし、5 社以上から参加申し込みがあった。10 月中旬には第一次審査を行い 5 社に絞り、10 月下旬に第二次審査で提案者を選定する予定である。プロポーザル委員会には学校建築の学識経験者にも加わってもらっている。

4. 意見交換

〈新校舎の基本設計について〉

- ・体育館やプールについて、地下に設けるか上階に設けるかで施設の利用も大きく変わってくる。現時点での皆さんの希望や意見を伺いたい。（会長）
- ・学童クラブの広さは十分とってほしい。（委員）
- ・先日 Jアラートの避難訓練を実施していたが、新校舎にはシェルターを設置する予定はあるのか。（副会長）
- ・今のところ特にシェルターを作る計画はないが、今後計画される可能性はある。
これは事務局からのご提案だが、学校の諸室の配置等について、別途保護者の皆様と学校関係者の意見を伺いながら検討させていただきたい。（事務局）

- ・新校舎は免震構造なのか。それとも耐震構造か。(委員)
- ・それぞれの構造でメリット・デメリットがあるので、精査して皆様にお示しする。(事務局)
- ・近隣で再開発事業が進んでいるが、その建物の大きさによって新校舎の日当たりも変わってくるのではないかと。それによってプールを上階に設置するか地下に設置するかの判断にも関わってくる。(委員)
- ・その再開発はもうすでに決定したものなのか。(委員)
- ・再開発で建物が建ってくるのはまだもう少し先のことではないか。次回事務局で調べてきてほしい。(会長)
- ・次回協議会で資料とともに説明する。(事務局)
- ・体育館は地域の避難所としても利用されるので、どこに設置するかは重要である。(会長)
- ・平時に児童が利用するのであれば教室の近くにあった方がよい。これから PTA や学校関係者の意見を聞きながら諸室の配置については詰めていくので、決定するのはもっと先になる。(事務局)
- ・業者選定プロポーザルで選ばれた提案には本協議会の意見を反映していけるのか。(委員)
- ・プロポーザルでの提案は技術力・提案力の高い業者を選定するためのものであり、業者が決まった後に基本設計を固めていく。基本設計は協議会の考えを聞きながら進める。(事務局)
- ・プロポーザルで選定されなかった業者の提案が使われることはないのか。選定された業者の提案はもう変わらないのか。(委員)
- ・皆様のご意見で提案時とは全く変わっていく可能性はある。協議会の意見を聞きながら設計作業を進め、施設のレイアウト等を決めていく。(事務局)
- ・基本設計で決定したものはもう変わらないのか(委員)
- ・協議会の意見を聞きながら基本設計を固めていくので、そこで一度決めたものを変えるのは難しい。スケジュールがさらに遅れる可能性がある。新校舎の動線・レイアウト等はすべて協議会にお諮りしていく。(事務局)
- ・他校の事例では、協議会の意見を聞いて作ったものが実際には使いづらかったということもあったと思うので、基本設計は慎重に進めた方がよい。
協議会で固めた基本設計案で進めていけるのか。議会の承認も必要なのか。(委員)
- ・協議会と議会で意見が食い違う部分も出てくると思うので、双方にしっかり確認しながら進めていく。(事務局)
- ・体育館を上階に持ってきた場合、自家発電装置を持っていけるのかが心配である。避難所として利用する際の使い勝手にも配慮してほしい。(委員)
- ・PTA や学校関係者の意見を聞きながら諸室の配置を決めていくということだが、せっかくこのような協議会が設置されているので、地域の方々の意見も聞いていただきたい。
今の体育館は講堂としても運動場としても利用されるが、講堂と屋内運動場を分けて別にしても良いのではないかと。
最近では学校内に学童クラブが設置されることも多いが、勉強する場としての学校と生活の場としての学童保育はどのように分けるのか。一旦下校してから学童に行くのか、校内移動で学童に行くのか。(副会長)
- ・事務局としても同様の考えで、色々な立場の方の意見を聞きながら基本設計を進めていく考えである。講堂と体育館についても皆様の意見を伺いながら整理していく。

学童クラブについては、運用上の問題はあるが、一旦校外に出てからというのは考えづらいのではないかと。(事務局)

- ・建物のつくりはなるべく自然な方がよい。密度の高いプールは下階に、密度の低い体育館は上階が良いのではないかと。(委員)
- ・体育館は避難所としても使うので下階が良いと思う。(委員)
- ・避難所となるのは体育館だけではなく学校全体とお考えいただきたい。(事務局)
- ・区民サークルで昌平童夢館や神田さくら館の体育館を使うことがあるが、上階にあっても地下にあっても上下移動は大変である。また、体育館の下の階では音が響いてきてかなり気になる。(委員)
- ・プールと体育館の両方が地下にあっても良いのではないかと。(委員)
- ・プールの利用は夏だけで考えているのか。(会長)
- ・最近区内の施設で多い形式は、少し温度が低い時に加温できる形式のものである。温水プールであれば一年中使用できるが、莫大なコストがかかる。プールの利用時期については皆さんの意見を伺いながら検討していく。(事務局)
- ・具体的な学校のイメージを把握するために、学校施設の見学会を行ってはどうか。(会長)
- ・見学会で見るのは区内の学校だけか。区外の学校を見学することも検討してほしい。(副会長)
- ・区外の学校も含め、見学会については会長・副会長と調整し、改めてお知らせする。(事務局)
- ・新校舎の幼稚園プールはどうする予定なのか。(委員)
- ・幼稚園の課程では水泳というわけではなく「水遊び」である。今後検討していく。(事務局)
- ・整備計画方針で「1学級あたり 64 m²以上」とあるが、小学校の教室は 8m×8m なのか。十分なスペースを確保してほしい。(委員)
- ・小学校は 8m×8m が標準、中学校は 8m×9m が標準である。(事務局)
- ・施設の配置等については基本設計を進めていく中で設計業者を入れて検討していった方がわかりやすいのではないかと。現時点では、校長先生の困っていることや、もっと大きな問題について話した方がよい。(委員)
- ・議論が細部にわたりすぎているので、まずたたき台を作ってもらってから動線等も検討していきたい。(委員)
- ・10月下旬に設計業者が決定し、PTA や学校関係者の意見を聞いて諸室の配置等を検討していく。その後、協議会にも設計業者を呼んで皆さんの意見を聞いてから図面を書いてもらう流れである。(事務局)
- ・PTA の意見を聞く場を設けるといふ話は、保護者全体に意見を聞く機会を設けてからにしていきたい。(副会長)
- ・新校舎について、実際に通っている子どもたちに希望や意見を聞く機会があってもよいのではないかと。(委員)
- ・できるだけ子どもたちの意見も聞きながら検討していきたい。(事務局)
- ・仮校舎の場所は旧九段中学校で確定なのか。(副会長)
- ・PTA に改めて確認の上決定する。旧九段中学校を仮校舎として利用する場合は、九段小学校の移転後、傷んでいる箇所の改修工事をする必要があるため、最速でも平成 31 年度に 2 学期から利用可能となる。(事務局)

5. 次回の日程について

- ・正副会長と事務局預かりで、見学会について調整し、改めてお知らせする。(会長)
- ・異議なし。(全員)

閉会